

男女がともに 輝くために

共に輝くみほの会
—美浦村女性行政推進協議会—

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)208

「気持ち」を考える時間

中山 万律子

1月16日、木原保育所にて年長児を対象に、人権を学ぶためのDVD上映と意見交換会を行いました。子どもたちにDVDを見てもらい登場する動物たちの気持ちを考え、もらおうという企画です。今回、題材に使用したDVDは「やさしいオオカミ」というお話です。私たちにとっても年長さんにとっても初めての体験。お互いに少し緊張しながら研修会はスタートしました。

「やさしいオオカミ」

友達がほしいけど臆病で弱虫のオオカミは、牙のないオオカミ「キバナシ」と呼ばれ動物たちからバカにされていました。うさぎの兄妹に遭遇し

た時に、妹うさぎはキバナシにびっくりしましたが、兄うさぎにはキツクやパンチをされてしまいます。また、森で人間がつくった罠につかまっているきつねを見つけ、友達になつてくれることをお願いし助けた時、「オオカミとは友達になれない」と言われ裏切られてしまいます。(中略)

ある日、妹うさぎが夕方に襲われ連れ去られてしまいました。その妹うさぎを助けたのはキバナシでした。キバナシの優しさと強さを知ったうさぎの兄妹が、キバナシの最初の友達になりました。その後キバナシはどんどん友達が増え、森の人気者になりました。

DVDを見た後に、兄うさぎにパンチされたとき、きつねに裏切られたとき、うさぎがオオカミに助けられたときなど、あらゆる場面を振り返りました。「パンチされていやな気持ちだった」「きつねに友達になつてもらえなくてかわいそうだった」「うさぎにいじめられたのに助けてあげて、オオカミがやさしかった」「みんな動物たちの気持ちを真剣に考えてくれました。DVDを

見る前にオオカミの印象を聞くと「こわい!!」と言っていた子供たちも、DVDを見た後は「オオカミやさしかった」「イメージの逆だった!」と発言に変化がありました。また、「オオカミになりたい」「最後にみんなが仲良くなってよかった」という感想もありました。そして、やさしい気持ちを持つているとみんなと仲良くなれることを共感しました。

「気持ち」は人それぞれ違うもの。その「気持ち」を考えることは年長さんにとつては難しいことだったかもしれない。今回は動物たちの気持ちを考えてきましたが、日常の中でお友達の気持ちを考えないといけない時がたくさんあると思います。今回の経験がそんな時のヒントになってくれたらうれしいです。素直な年長さんと「気持ち」を考える時間。私たちは優しい気持ちになれるとても貴重な時間でした。



あなたの「教えたい」と、村民の「学びたい」をつなぐ

『まちづくり出前講座』講師登録のご案内

◆美浦村まちづくり出前講座とは？

村民の要請に応じ、村民・民間企業社員・教職員・公共機関職員・村職員などが講師となって公民館などで講義を行い、村民の学習機会の充実や村政への理解を深めていただく事を目的としています。あなたの特技や知識、趣味などを多くの方に知っていただく機会ですのでぜひご登録ください。

◆出前講座開講の流れ

- ①講師となる方が、趣味や特技・活動・経験を生かした講座を登録
- ②村はメニュー表を作成
- ③受講希望者はメニューの中から学びたい講座を選んで村へ受講申込書を提出
- ④申し込みのあった講座の講師へ村から受講希望の連絡
- ⑤講師から承諾いただいた後に、受講希望者へ開講決定を通知
- ⑥受講希望者と講師の間で詳細のやり取り
- ⑦開講

※村で定めた決まりなどの注意事項がありますので、お問合せ・ご確認をお願いいたします。

◆問合せ 生涯学習課(中央公民館内) ☎029-885-4451、FAX: 029-885-7015